

山口県立大学のカラー・シンボルについて

小南英昭 井生文隆 猪又 徹

“Visual Identity Project of Yamaguchi Prefectural University”

hideaki KOMINAMI fumitaka IO toru INOMATA

Summary

This bulletin describes an accomplishment for a theme of the Identity Committee in Yamaguchi Prefectural University.

One aim is to decide the formal identity color of Yamaguchi Prefectural University for fixing the image of our being to be recognized easily and sensitively in the publicity in our home ground.

Another aim is to develop the color symbolism connecting to the whole activities of our university based on the formal color identity.

1 はじめに

(1)委員会の発足と業務内容

平成15年度学長企画室ワーキンググループ「大学アイデンティティ委員会」は4月に設置され、5月22日学長よりメンバーが告報された。

委員長	教授	猪又 徹
委員	助教授	井生文隆
委員	助教授	小南英昭
委員	会計課長	和田静生
アシスタント	研究生	藤本良子

委員会に与えられた課題は「本学の存在感をさらに一層際立たせ、県民や市民に広く愛される大学イメージを定着させるために、本学の正規スクールカラーを決定し、これを基盤にして大学活動全般におよぶカラー・シンボリズムを豊かに展開する方策を講ずることである。」というものである。

(2)委員会の制作姿勢

委員会の課題は本学の存在や理念をカラーで表現するということである。そこでそのカラーを選定するに至る制作過程に必要な情報、情報の分析、それらを整理して提案するデザイン等を行うのである。

この作業では決定へ至る段階で様々な新しい問題等が生じると思われるので、その都度委員会で話し合いをし、または外部の方々の意見等を参考にしながら作業を進めることで、総合的にレベルの高いデザ

イン提案をしたいと考えた。

最も重要なことは、本学の教育理念の理解である。これは本学の学生ハンドブックに、岩田啓靖学長が次のような一文を記している。

「君の幌馬車を、あの星に繋げ」ー山口県立大学で学ぶ皆さんへー山口県立大学の新しいスタートにあたって、私たちは『‘ひと’に優しい大学』づくりという目標をはっきりと掲げました。そして、それを具体化するために次の四つの基本理念をきめたのです。

人間尊重の精神
生活者の視点の重視
地域との共生
国際化への対応

アイデンティティ委員会の課題は、この理念を本学のカラー・シンボルとして視覚化するということである。

まずこの理念をもとに現在の本学の状況を認識し、さらに本学が将来へ向かうエネルギーや、絶えず革新へ向かう活動力、そして大学にふさわしい知性を感じさせるもの、さらに本学の将来に夢を託す学生や地域の人々が持つ本学のイメージや期待等といったものを総合して、シンボルカラーとして制作することが委員会の基本的制作姿勢である。

また本学の教員、在校生、卒業生、高校生、地域

の一般の人々が、本学に対してどのようなイメージを持っているかアンケート調査等を実施して調べてみる必要があるし、また本学の内外の人達から本学のイメージについて直接意見を聞くことも重要なので、委員会を設置することとした。

2 カラー・シンボルの意味とその位置について

アイデンティティー委員会がカラー・シンボルを提案するのだが、委員会がカラー・シンボルの意味をどのように考えているか、この理解はそのまま委員会の提案するカラーやデザインに反映されるので、この点に関して明確な理解がなければならない。

この課題が委員会に与えられた時から、各委員がカラー・シンボルの理解について共有することが重要なので、このことについて幾度か意見交換を行った。

本学が行事に於いてカラーを大学のシンボルとして意図的に使用して来た経緯はないし、また経験もないのだが、今後は意図的にカラーを積極的に使いながら本学の存在感を表現しようと考えているのである。

カラーが様々な場面でシンボリックに使用される例は世界的にも多くあることで、日本でも歴史的にも数多くみることができる。例えば日本の大学等で現在使用されているスクールカラーにはかつて大学の歴史的行事の始まりに偶然その色があって、たまたまそれを使ったことで、現在はその大学の伝統的な色となった、という経緯をもつ大学等がある。こうした自然発生的に大学のシンボルカラーが決まったケースもある。むしろ政策的に大学の存在を感じさせるためカラーを設定したという事例は少ないようである。

デザインの領域にVI (Visual Identity) 計画というのがあり、これは企業や大学のイメージを、色・形・文字の形等で表現をすることである。そのイメージに託されるのは、企業のビジネスの発展と社員の企業への思想的な協調性や統一を目指すもので、このVI計画の効果としては、企業のイメージや知名度が向上し、社員に刺激をあたえ、やる気をおこさせ、売り上げ増で業績も向上していく等が生じると考えられるので、この宣伝効果は大変有効であると考えられている。

したがって、こうしたVI計画を持つことは、企業戦略の重要な経営方針であり、VI計画では色とシンボルマーク、ロゴ等がセットで制作されアピールされるのである。

この度アイデンティティー委員会がもらった課題は、本学におけるカラーを基本としたVI計画と考えた。

3 山口県立大学スクールカラー選考委員会について

本学内に山口県立大学スクールカラー選考委員会を設置して、平成15年7月2日よりこの内規に基づき委員会を立ち上げた。

当委員会は山口県立大学スクールカラーの制定に関わる事項について審議し、学長に意見を述べるものである。

この委員会の構成員は本学との関わりのある方々というだけでなく、地域広く山口県民レベルで仕事をしている方々を視野に入れてメンバーには在校生2人、高校生2人、卒業生1人、地域代表1人、一般2人、をお願いして意見等を聞かせてもらった。

第1回 スクールカラー選考委員会 7月31日

第2回 スクールカラー選考委員会 8月25日

この委員会は2回開催され、構成員各々から様々な角度からの意見を聞くことができた。

本学の歴史的な状況をご存じの委員からは、アイデンティティー委員会のメンバーが知らない情報などがあり、大変参考になった。

本学の存在に深く関わってきている地域代表の方からは、本学の動向が様々な場面で地域へ大きな影響を与えている状況や、今後の本学の発展に大きく期待されていることなどが述べられ、そうした本学へのイメージがあることを実感することができた。

また桜圃会会長は本学が山口県立女子専門学校であった頃から、山口女子短期大学時代までの状況、そして現時点の本学へ至る様々な出来事までを良く理解され愛情溢れる本学への期待を述べられた。

アイデンティティー委員会としては、山口県立大学スクールカラー選考委員のメンバーからの意見、期待等をカラー選定に盛り込むことを考えた。

4 デザインの方針

色自身がどのような性格や意味を持つかということだが、色に対する名前は共通理解ができるが、色の感じ方は世界でそれぞれ異なった意味理解を持ち、そこには国民的、歴史的な条件が影響している。個人的にも同じことが言える。

このことはカラーを通して「大学の存在感」を伝えようとするのだが、色の感じ方を記号的な共有する概念として形成するのは難しい。

色、形の選択は、この課題について様々な角度から入るアンケートや情報を通して作業を進めるなかで、制作担当者は徐々にその全体的な流れや雰囲気を理解し、思索し、感じ、それらを整理しながら決定へと至るのである。

この時個人的な直観や経験の積み重ねが機能する。シンボルの選定作業等はその経過や決定を必ずしも客観的な共有する記号や概念で説明することが

難しいが、委員会ではできるかぎり制作過程と選択の意図を明確にするようにこころがけた。

大学は様々な場面で学外へその動きや存在を示す必要があるので、カラーを基本としてアピールするためには、カラーと組み合わせてたシンボルマークや文字とセットで表現するほうが効果的ではないだろうか。

そこでこの作業、シンボルカラー設定にあたって、委員会はこのカラーの効果的利用のひとつとして色と関連する形、つまりシンボルマークについても、ロゴについてもセットで作業し提案することとした。

5 制作経緯

(1) アンケート調査

山口県立大学アイデンティティー委員会（以降アイデンティティー委員会）はテーマを具現化し、具体的なデザインとして提案するために、まず、山口県立大学アイデンティティー計画についての協議を行い、段階的に作業を実施することとした。

まず、企業におけるアイデンティティーVI計画の作業は基本的に企業の構成員の認識を確認することや外部の人たちがその企業をどう見ているか、感じているかをアンケート調査などで全体的なイメージを掴むことから始めるのであるが、規模や時間的な条件等において実行可能な方策としてのアンケート方法をアイデンティティー委員会で考えた。

アンケートの範囲は本学の過去、現在に関わると思われる人たちおよび地域の人たちから本学のイメージを伝えてもらおうと考えた。まず現在については、現役の学生や教員そして大学周辺、地域の方々をお願いすることとした。過去については卒業生（桜園会会員）の方々である。

アンケート方法は、イメージ言語スケールによるアンケートと具体的な色によるアンケートでいずれも選択方式とした。

アンケートの質問項目については、VI計画調査等で使用されるものとはほぼ同じもので、本学のイメージをカラーで表現するとどうか、また言葉で表現するとどうかを設定した問いであり、それらの言葉をカラーに置き換えるカラーイメージスケールを用いてアンケートを作成した。内容については本学の学生や教員に対する質問項目と学外や桜園会会員の方々への質問は少し変えたものとした。桜園会、学外では、山口県立大学の現在のイメージと山口県立大学のこれからのイメージを、学内向けはさらに細かい質問を設定し、各学部、学科のイメージ等についても質問した。

<参照>アンケート用紙（桜園会、学外用、学内用）
(注 P53)

(2) アンケート結果総計

アンケート実施については、平成15年7月1日に桜園会会員にアンケート用紙を郵送で配付し回答者数は188人。平成15年7月20日には学内でアンケートを実施し回答者586人。平成15年7月22日には学外アンケートを実施し回答者116人といった状況であった。

(3) アンケートの分析

アンケートは問いに対する答えを一問一問をチェックしながらカラースケールに置き換えてデータ化する作業を行った。アイデンティティー委員会としてはアンケートからカラーを通して見る本学のカラーイメージについて本学の学生、教員、学外者また桜園会会員のデータを読み取ることをした。そして山口県立大学スクールカラー選考委員会（以降カラー選考委員会）での意見をカラー化してみるという作業を行った。さらにそこから本学が僅かであるが保有しているカラー表現の歴史的な事象の位置づけ、そしてもっと重要な本学のあるべき姿や姿勢の基本となる将来のイメージの言語化そしてカラー化を考える作業へ入った。

この作業は今までのアンケートやカラー選考委員会の意見等の集約等を知識的に、経験的に表現レベルへ持っていくという非常に緊張感と責任を各アイデンティティー委員会委員が感じながら行なう重要な作業であった。

アンケート分析結果として、山口県立大学の現在のイメージは、やはり地名や場所に左右され（自然・のどか・素朴）といったイメージが強く見られた。しかしこれからの山口県立大学に対するイメージは、（活動的、文化的、進歩的、開放的）という言葉からも読み取れるように、山口県立大学に革新的なイメージを期待している。（注 P54、55）

6 シンボルカラーの位置付け

シンボルとして考えるのであるから必ずしもアンケート結果の総合的なカラー選択ということだけではなく、また歴史的な伝統というだけでなく、アイデンティティー委員会を感じる積極的な理念や未来への希望といった要因をより強く出す考えも、またアイデンティティー委員会の責任として考えた。しかしやはりアンケートと伝統をまったく無視して本学の存在は考えられない。カラー選考委員会で本学のスクールカラーは茜色と思っているという委員の発言は個人の思い入れがあるような事例でそのような心情はまさしく大学のカラーをシンボリックな心情で感じたものであり、このような精神が大学スクールカラーの本来の意味であると考えた。しかし委員が指摘したそのカラーは桜園会188人回答者のうち

12人程度が同じ意見であった。こうしたことからシンボルカラーの意味は必ずしも多数による考えが適切な色を選択するのではないと考えられる。しかしながら本学の歴史的な所でわずかながらカラーとの出会いもあり、これはやはり考慮すべきではないだろうか、そしてここから新しく始まる、始めるといふことも極めて重要な点である。

そこで一つは、伝統を考慮しながら考えるカラーともう一つは本学の理念と未来を絶えず希望し革新する知的エネルギーを考えて見えてくるカラーの2系統の考え方でデザインを提案することとした。

第1案のアンケートに見る本学の色はやはり現状の地域的な条件の影響や目に入りやすい事から寒色系統のイメージが多いようであった。

この背景にあるのは現在の大学の雰囲気でもあるし、地域的な感じであるが、のどか、若々しい、素朴、まじめ、地味といった感じがおおい。これはどちらかというところりして現状の良さのみが表面化しているといえる。

第2案は地域的特性とか雰囲気より将来の本学のあるべき姿とか方向、いうならば本学が未来を絶えず希望し続けるような性格を感じさせるものでアンケートでも「これからのイメージ」の問いには地域的カラーイメージよりも理想的というか、希望的というか、積極性、活動的という言葉と明るい色彩を指摘するものが多かった。こうしたイメージは暖色系統を数色で組み合わせ補色対比的に並べたデザイン等として展開することとした。

アイデンティティ委員会におけるスクールカラー設定の考え方の基本は、調査分析で出てきた色のイメージを参考にスクールカラーを設定するために最も重要な、・大学のビジョン(思想)、・大学の理念を踏まえて、地域に根ざした、革新的な山口県立大学をアピールできる「スクールカラー」を検討していく事とした。

7 制作と提案

(1) デザイン案1 (注 P92)

基本色は固有色名Cobalto bule 系統色名Strong blue。「cmyk:data/C=100, M=50」「DIC:data/579」を設定した。

その他の組み合わせとして

固有色名 Fresh green

系統色名 Vivid yellow

「cmyk:data/C=50, Y=100」「DIC:data/171」

固有色名 Sky blue

系統色名 Light blue

「cmyk:data/C=80」「DIC:data/100」

固有色名 Turquoise blue

系統色名 Bright blue

「cmyk:data/C=100, M=20」「DIC:data/181」

固有色名 Turquoise

系統色名 Bright blue

「cmyk:data/C=100, Y=50」「DIC:data/2130」

固有色名 Malachite green

系統色名 Deep green

「cmyk:data/C=100, Y=100」「DIC:data/638」

固有色名 Tangerine orange

系統色名 Bright orange

「cmyk:data/M=50, Y=70」「DIC:data/204」

固有色名 Cardinal red

系統色名 Deep red

「cmyk:data/C=20, M=80, Y=100」「DIC:data/236」

この案ではアンケートを総合してみると、現在の本学のイメージや位置づけからはやや寒色に近いものが多く、さらにこれからのイメージにしても寒色系統がかなり多くみられる。そのほかは中間色、暖色なので、この案では寒色と僅かな暖色を加え総合的な雰囲気として将来の明るい活動的な雰囲気をイメージするように色を選び形にしてみた。基本色には寒色の中で知性や品格を感じさせるコバルトブルーを使用した。

平成4年本学が県立大学となり男女共学になった時に公募で採用されたYPUのロゴはロイヤルブルーがベーシックカラーで、ライトグリーンがサポートカラーである。このロイヤルブルーは英国王室のオフィシャルカラーであり、ライトグリーンは日本では浅緑といわれ、春の柔らかな若葉の緑を表現する色である。

平成4年以後の学生達はこの色の組み合わせを、なんとなくだがスクールカラーと思っているようであった。

そうした本学の背景を考慮してコバルトブルーを基本色とし、さらに数色の色と構成することで、今後の本学を感じさせるように心がけた。

コバルトブルーは安定した色として日本社会には受け入れられている、それだけに一般的であり、そこにむしろ大学の穏やかさを感じてもらい、そしてこの色と組み合わせで見えてくる全体的な色バランスからは未来へのエネルギーを感じてもらえと考えた。

シンボルマークのデザインは楕円を基本形態とし、未来を希望し続ける意味を持たせた。楕円ブルーの上にあるのは本学の4つの理念を表し、そしてそれらに連関するラインで表現している動きが時間を意味し、過去(赤)、現在(緑)、未来(青)を意味している。これらの要素を組み合わせることによ

り全体的な形が山口県立大学のイニシャルになる「Y」を感じさせるデザイン構成にしている。

また、デザイン展開としてシンボルマークデザインを各学部のイメージカラーで置き換えることにより学部ごとのアピールツールとして使用することができるよう設定を考えた。

(2) デザイン案2 (注 P93)

基本色に固有色名緋色Poppy red 系統色名bright red「cmyk:data/C=10,M=80,Y=60」「DIC:data/197」という色を配した。

この色は色彩分類のなかでは「強い赤」といわれが、フランスでは恥ずかしく顔を赤らめた時にこの赤のことはCoquelicotを使う。日本では能で「猩々」を舞う時の赤毛赤装束からイメージして猩々緋と言われている。brightはきらきら輝く、パッと明るいといった意味で、色相の性格をあらわしている。

また、この色は本学が昭和17年4月、山口女専の時代に校章、校旗を設定したとき「その形状は、エンジ色の円形の中心に白色の八咫鏡を配し、その中に「専」の字を図案化して収めたものである。校章の外周の円形は女性の円満を表し、八咫鏡は日本女性の婦徳の理想を、エンジの色は日本女性の赤誠をあらわしたものであった」と述べられている。このエンジ色は本学を色彩で表現しようとしたときに使用された歴史的な背景がある色であり、その後この世代の学生達には様々な印象を与えてきた。

エンジ色は日本で臙脂色といわれ、茜草の一種のマダーから採った色素で染めた色のことである。色彩用語ではCrimusonクリムソンといわれ、色の説明としては、deep purplish redと言われ、やや紫色を感じさせる赤で、こい紫の赤と言われる。この色を茜色と表現した桜園会員の方々もいる。

茜色はこの色よりやや明るい赤で、色彩用語ではCardinal redと言われ、日本では茜色といわれる。この色は茜草を原料として染色された。古代ローマ枢機卿の衣服の色とされた。この色はこうしたシンボリックな性格を有した色である。桜園会会員がこのエンジ色と茜色を厳密に区別せず使用してきたようだし、この2色は並べてみるとその微妙な違いは感ずるのだが単独でしめされるとなかなかの確には区別が難しいので、桜園会員がそのような言葉で理解したいとしても無理はないだろうが、色とその名称はやはり似て否なるものである。

エンジ色より少し明るい茜色は多少区別がむずかしいこともあったが、かなり本学を印象づけてきた背景がある、そこでこうした伝統をふまえこれからの本学の発展に力をくれるような色として茜色より少し明るく伝統と革新を感じさせる色としてこの緋色を配した。シンボルマークデザインは楕円を基本

形に本学科の4つの理念を象徴し活動的なイメージの配置で構成。配色は緋色を基本カラーに躍動的なイメージを表現するため固有色名Dandelion(タンポポ色) 系統色名Vivid yellow(さえて黄)「cmyk:data/Y=100」「DIC:data/568」でグラデーション効果を使用。

また、本学のイニシャル「Y」を連想させるデザインを試みた。

(3) デザイン案3 (注 P94)

基本色は固有色名Turquoise blue、系統色名Bright greenish blue「cmyk:data/C=100,Y=10」「DIC:data/139」

固有色名Dandelion、系統色名Vivid yellow「cmyk:data/Y=100」「DIC:data/567」を配し周囲を固有色名Majolica blue、系統色名Deep blue「cmyk:data/C=100,M=80」「DIC:data/222」で縁取りをしたデザインとした。

アンケートではかなりブルーの色もあったのでこの色をベースに考えてみた。ただ現状を感じるだけではなく未来を感じさせるために重々しいものより明るく展開を感じさせるため黄色と組み合わせることにした。

Turquoise blueは青と緑の中間色相を持った色で、日本では中世に青緑のうすい色を浅葱色と言われ、藍染めが浅いところに見える色で葱の鮮やかな色に似ているところからこの名があるが、藍染めの色はかなりその濃淡で幅の広い色相が染め出される。藍染めはうすく染めると色相が緑にかたよるが、この色にはなりにくい。この青緑系の色に適切な和名がないために、現在では幅の広い色相を持つ色に対して浅葱色と言っている。この色よりやや明るいのを水浅葱または薄浅葱という。

Dandelionはたんぽぽの黄色のことで、さえた色と言われる。Vivid yellowのVividは鮮明な、目のさめるような、強烈なという意味からもこの黄色の色の鮮やかさがわかる。

Majolica blueは地中海のマジョルカ島原産の陶器に見られる独特な青色、深い青を表したもので、日本では濃藍といわれる。

この明るいTurquoise blueとDandelionの2つの色相をきりつとした感じでMajolica blueを配色した。

形は本学の4つの理念をあらわし、さらに山口のイニシャルのYをも感じさせるものである。

このやや鋭い鋭角の形の組み合わせには、未来に立ち向かう革新性や厳しさをイメージさせ、その形が持つ色の組み合わせからは明るさや、希望、知性等を感じさせるような雰囲気表現した。

(4) デザイン案4 (注 P95)

この案は本学の理念と未来をより強く表面にだし

て色と形で表現を試みたものである。基本色は固有色名 Vermilion 系統色名 Bright yellowish red [cmyk:data/M=90,Y=80]「DIC:data/2504」

Vermilionは人工で作られる色で、水銀に硫黄を反応させてつくる顔料である。水銀の鉱石である辰砂から採った顔料で、中国辰州産の朱砂が有名でこれを辰砂といった。辰砂の色はもっと紫みを帯びたくすんだ色で、琉球の紅型染に用いられている。日本では朱色といわれる。

この色は朱の赤で輝くようでやや黄色をおびている、という色相の性格をもっている。緋色 Poppy red よりも明るい赤といえる。

シンボルマークデザインは2つの楕円の組み合わせでできた形「花びら」を基本形に本学の4つの理念を表現して配置した。配置構成はそのサイズと理念の重さに関係なくリズム感を持たせた。また、4つの形を対角線上に配置することにより、内側の白い部分が山口県立大学のイニシアル「Y」が浮かび上がるように配置した。さらに基本形「花びら」は本学の地理的特性である桜島を思わせるような、桜の花びらがひろがるイメージを表している。

アクセントカラーとして右下の基本形の配色は色に動きを持たせ、躍動感を表現し未来志向を感じさせるように固有色名 Dandelion (タンポポ色) 系統色名 Vivid yellow (さえて黄) [cmyk:data/Y=100]「DIC:data/568」でグラデーション効果を使用した。

(5) ロゴタイプについて

本学名称のロゴは4パターンのデザイン案に共通して用いるもので、固有色名はDove Gray系統色名 Purplish Gray。「cmyk:data / K=60」ダブグレイは日本名では鳩羽鼠(はとばねずみ)といわれ、鳩の羽毛にみるやや紫がかかった色のことである。系統色名ではこの色を、やや紫みのグレイという。おちついた色で気品を感じさせる雰囲気をもっている。ロゴの形はこの色のイメージと今後の本学の姿を重ねて落ち着きがあり、しかも活動的で柔軟性を感じさせるようなほんの僅かだが丸みを持ちながらも知的なイメージを持った文字の形とした。

8 まとめ

(1) 報告と承認手続き

平成15年9月22日(火)大学広報ワーキンググループ「大学アイデンティティー委員会」は岩田啓靖学長に答申書を提出した。

平成15年9月30日(火)山口県立大学管理調整会議において、「大学アイデンティティー委員会」から学長へ提出の答申案について説明し、提案した1、2、3、4案の中から4案を採決した。

平成15年10月8日第7回評議会「スクールカラー」

「シンボルマーク」「ロゴマーク」のデザイン案が承認された。

各学部教授会でパネルボードのデザイン紹介を行った。

平成15年10月27日山口県総務部長に岩田学長、陶山事務局長、アイデンティティー委員及び学事文書課長等立ち会いで「スクールカラー」「シンボルマーク」「ロゴマーク」について説明し、賛同を得た。

平成15年10月31日山口県副知事に岩田学長、陶山事務局長、アイデンティティー委員及び学事文書課長等立ち会いで「スクールカラー」「シンボルマーク」「ロゴマーク」について説明し、賛同を得た。

平成15年10月31日山口県知事に岩田学長、陶山事務局長、アイデンティティー委員及び学事文書課長等立ち会いで「スクールカラー」「シンボルマーク」「ロゴマーク」について説明し、賛同を得た。

平成15年11月26日臨時評議会「山口県立大学スクールカラーのデザインの決定について」でこれを採決承認した。

平成15年12月15日記者発表を行い、内外に山口県立大学スクールカラーのデザインを公開した。

こうした経過を経てアイデンティティー委員会が制作した「スクールカラー」「シンボルマーク」「ロゴマーク」は山口県立大学のイメージ・シンボリズムとして承認された。(注 P96)

アンケート実施日

平成15年7月1日 桜園会会員の方々に郵送にて随時回答

7月20日 学内アンケート実施（全学部 学科生、教員）

7月22日 学外アンケート実施（山口市商店街にて）

1

アンケート結果総計

学年	性別	1年		2年		3年		4年		合計	有効回答率
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
男子	男子	95	27%	92	29%	90	23%	154	22%	381	24%
女子	女子	87	24%	87	24%	84	21%	85	24%	343	25%
合計	合計	182	26%	179	26%	174	22%	239	23%	774	24%

学年	人数	割合
大学部	35	3%
専攻科	121	27%

学内（学生、教員）
586人
学外（山口市商店街）
116人
桜園会会員
188人

アンケート回答数
887人

2

アンケート方法

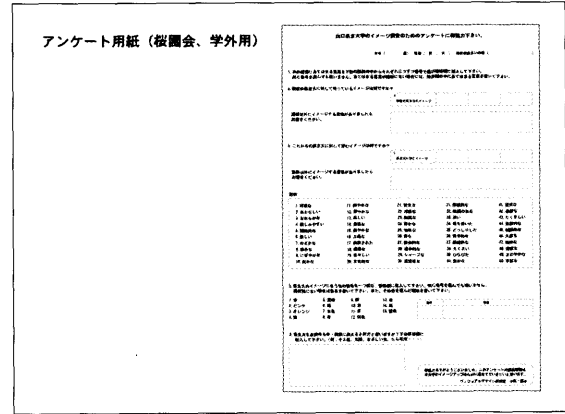
1. イメージ言語スケールによるアンケート
2. 具体的な色によるアンケート

上記いずれも選択方式

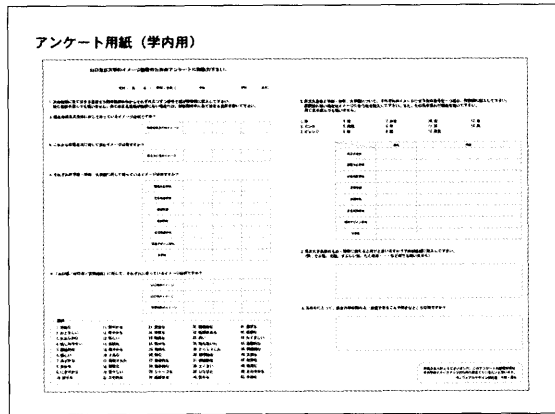
主なアンケート内容
桜園会、学外では、→山口県立大学の現在のイメージ
山口県立大学のこれからのイメージ

学内では、→上記の項目に加えて
学科のイメージを回答していただきました。

3



4



5

イメージ言語スケールの語群

1. 可愛い	11. 華やかな	21. 爽やかな	31. 機能的な	41. 堅実な
2. おどろかしい	12. 真面目な	22. 清潔な	32. 信頼のある	42. 温かい
3. 気さくな	13. 美しい	23. 地味な	33. 若い	43. たくましい
4. 暖かい	14. 落ち着いた	24. 地味な	34. 落ち着いた	44. 革新的な
5. 開放的な	15. 穏やかな	25. 地味な	35. ざつとした	45. 豪華的な
6. 優しい	16. 上品な	26. 知的な	36. 集中力のある	46. 大膽な
7. のびやかな	17. 洗練された	27. 洗練された	37. 洗練された	47. 洗練された
8. 爽やかな	18. 洗練された	28. 洗練された	38. 洗練された	48. 洗練された
9. にぎやかな	19. 洗練された	29. シンプルな	39. ひびきた	49. さわやかな
10. 活発な	20. 洗練された	30. 洗練された	40. 洗練された	50. 華やかな

具体的な色アンケートの語群

1. 赤	4. 黄	7. 水色	10. 紫	13. 白
2. ピンク	5. 黄緑	8. 青	11. 茶	14. 黒
3. オレンジ	6. 緑	9. 紺	12. 灰色	

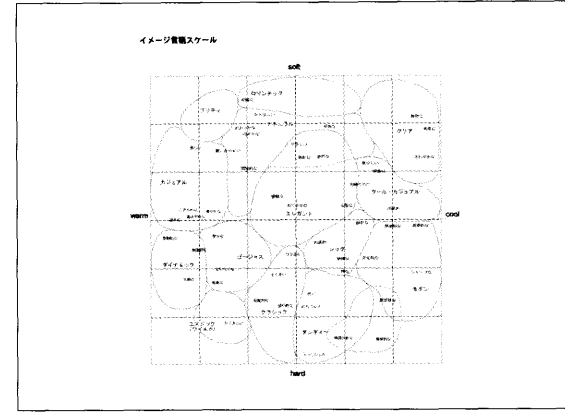
6

イメージ言語スケール

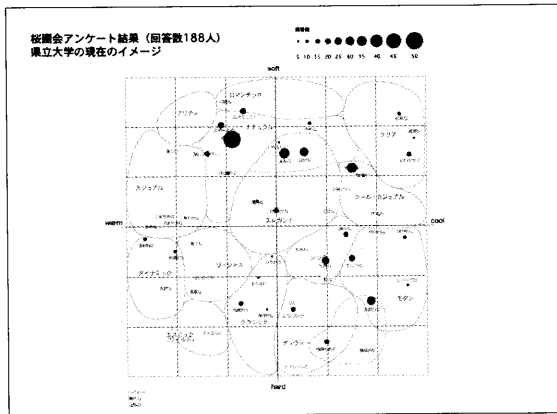
言葉の違いはイメージの違い。人々が色に抱くイメージはある共通した感覚がある。それを形容詞で表し、色との結びつきを研究し、スケール化したのが、言語イメージスケールです。

日本カラーデザイン研究所

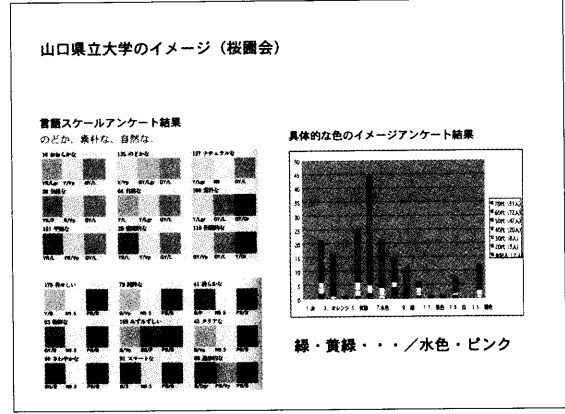
7



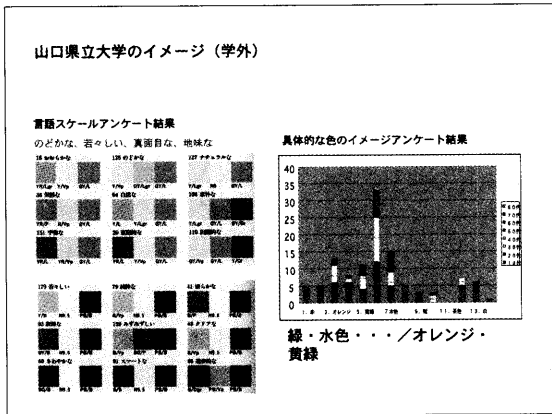
8



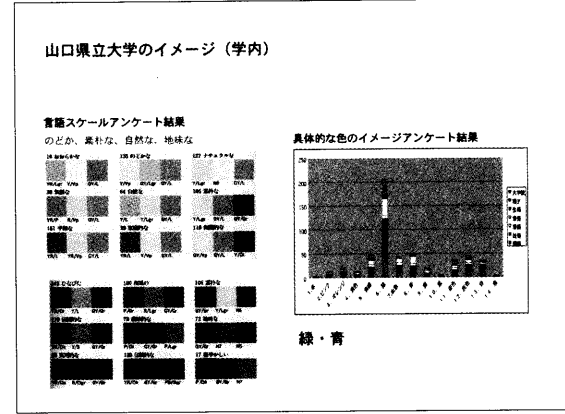
9



10



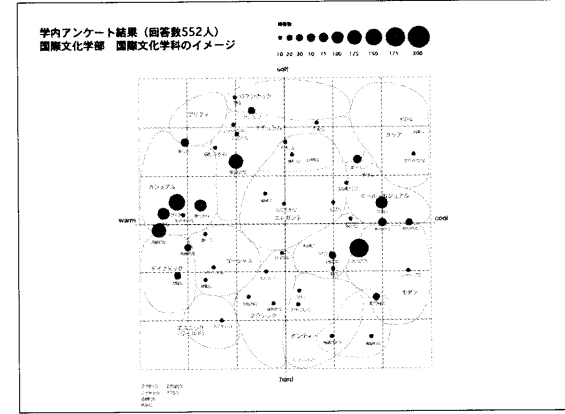
11



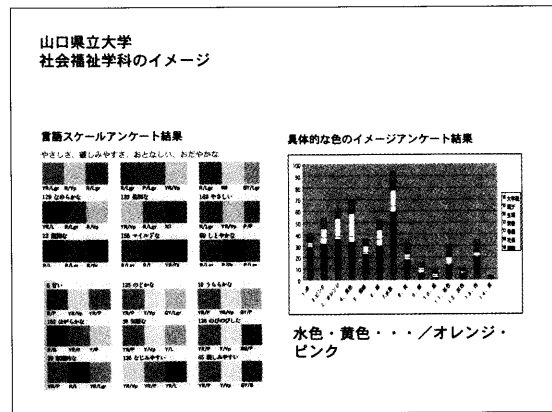
12

学内アンケートによる
学科ごとのイメージ・カラー結果

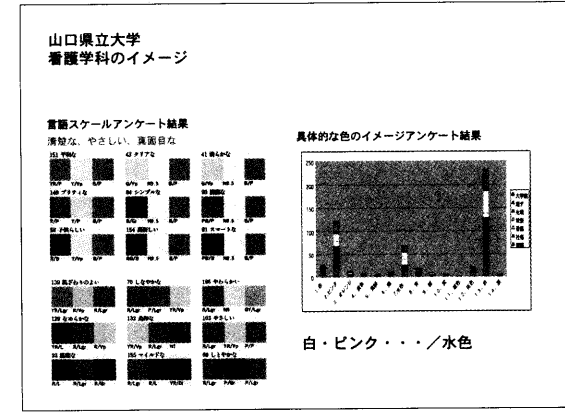
13



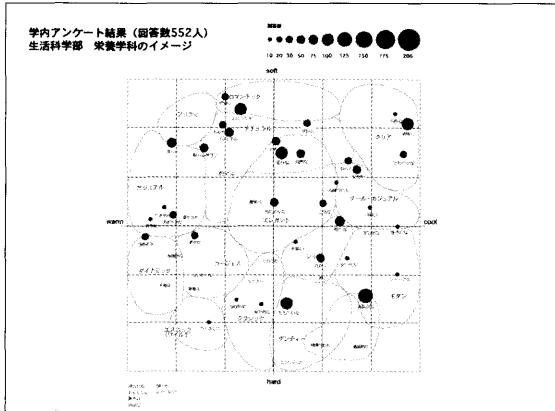
14



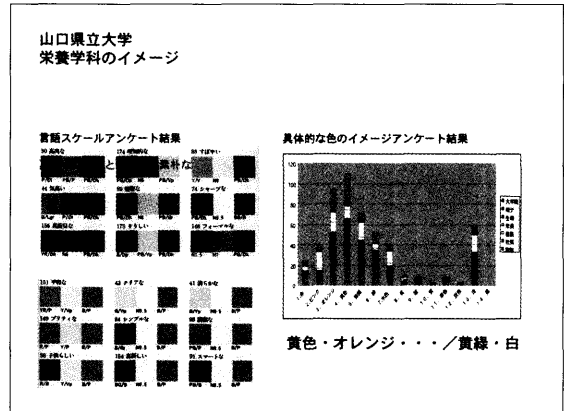
15



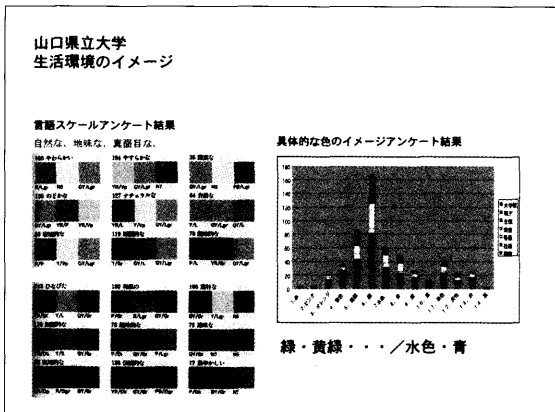
16



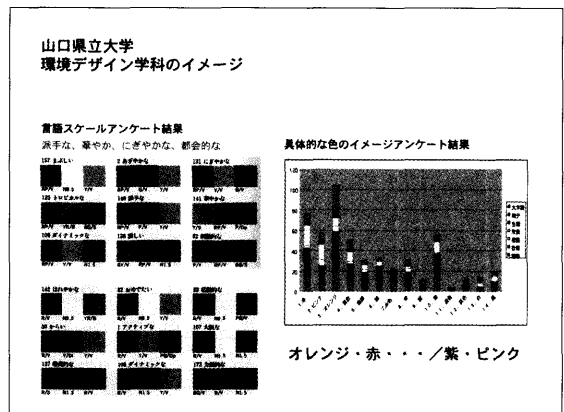
17



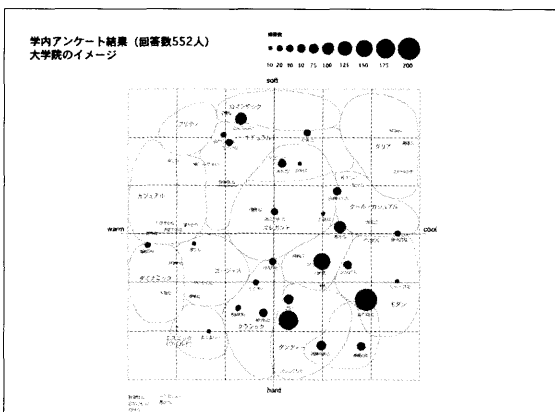
18



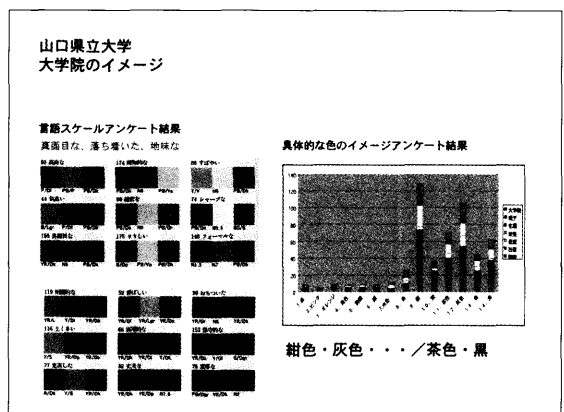
19



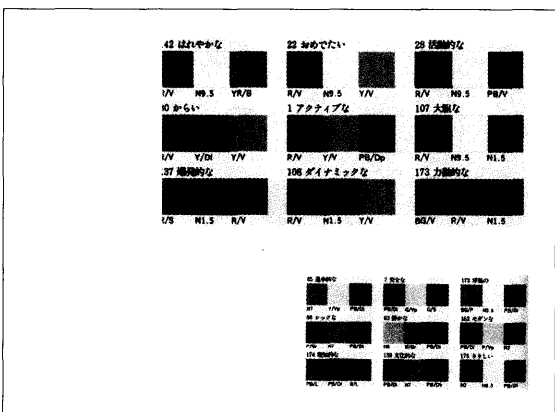
20



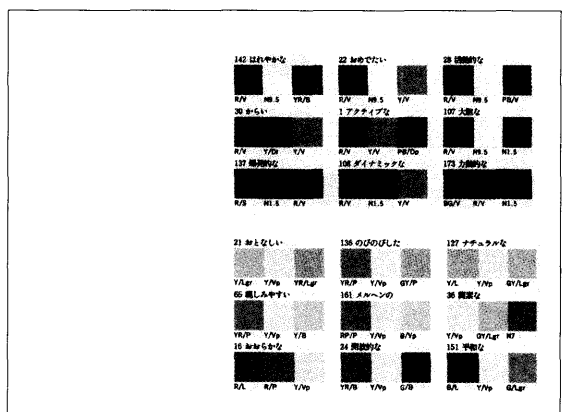
21



22



23



24

デザイン案1

シンボルマークの考え方

デザインコンセプト：県立大学の4つの理念と時間軸（現在、過去、未来）を用いて、山口県立大学を象徴する漢文字「Y」を表現し、開放的で活気ある、未来に向かって行動する大学をアピールしています。

色による学部カラー設定

生活科学部 社会学部 看護学部 国際文化学部 大学院

デザイン案1

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

山口県立大学 4つの理念

山口県立大学スクールカラー

現在 過去 未来

スクールカラー設定 (CMYK)

cobalt blue (コバルトブルー)
strong blue (つよい青)
cmyk:data / C=100, M=50

この色は、単色だけでなく、組み合わせ、濃淡を感知することができ、カラー印刷と適合させることで、鮮やか、深みのある、さわやかで学問的イメージとつながる。また、視覚的、触覚的な効果も考慮してグラフィックを制作することが可能です。

単色によるスクールカラー設定

スクールカラー設定 (DIC)

cobalt blue (コバルトブルー)
strong blue (つよい青)
cmyk:data / C=100, M=50

シンボル、ロゴタイプ組み合わせ

デザイン案2

シンボルマークの考え方

デザインコンセプト：県立大学の4つの理念を楕円で表現し、組みあわせることで山口県立大学を象徴する漢文字「Y」を表現。開放的で活気あふれ、未来に向かって行動する大学をアピールしています。

スクールカラー白抜き設定

デザイン案 a

アプリケーション展開

ブランドコミュニケーション
ユニフォーム等のデザイン
また、このロゴをデザインする
デザインセンターが中心。

スクールカラー設定 (CMYK, DIC)

poppy red (鮮色)
bright red (明るい赤)
cmyk:data / C10, M=80, Y=60

フランス語では 'fougère' コリスコという、葉で花穂にあり、葉の「葉」の音も葉の音の響きも響き (ふよふよ) の音がある。
brightは、まろやかな、柔らかいという響きで、色鮮やかな響きを帯びた。
また、この色は、赤のようにはっきりと見えて、緑、青、紫、黄緑をイメージさせることでもある。

アプリケーション展開

Yamaguchi Prefectural University

ハンネチ (シンボルマークを繰り返す)

色による学部カラー設定

生活科学部 社会福祉学部 看護学部 国際文化学部
大学院

シンボル、ロゴタイプ組み合わせ

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

デザイン案3

シンボルマークの考え方

デザインコンセプト：若葉をモチーフに県立大学の4つの理念を表現し、4つを組み合わせることで、山口県立大学を象徴する漢文字「Y」を表現し、未来に向かって羽ばたく大学をイメージし、

アプリケーション展開

ブランドユニフォーム
ユニフォームは警察官のイメージを表現し、デザインは清潔感と信頼感を演出し、警察官としての責任感を表現する。

名刺
山口県立大学
〒750-8580 山口県山口市
〒750-8580 山口県山口市
TEL: 083-924-1111
FAX: 083-924-1112

デザイン案 2

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

アプリケーション展開

Yamaguchi Prefectural University

パネル

パンフレット (シンボルマークをモチーフとしたデザイン)

スクールカラー設定 (CMYK, DIC)

turquoise blue (鮮緑色)
bright greenish blue (明るい緑みの青)
cmycdata / C=100, Y=10

dark blue
cyan blue
yellow
dark grey
purple grey
black

この色のイメージは、まず、豊かな自然をイメージすることです。この色は自然の色なので、さわやかで、フレッシュな印象を醸成することです。また、自然、信頼すること、ことで、コントラストが際立つため、デザインに活用し、重要なイメージを伝えることができます。

シンボル、ロゴタイプ組み合わせ

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

緑色によるスクールカラー設定

アプリケーション展開

スクールバス

デザイン案4

シンボルマークの考え方

デザインコンセプト：四つ葉のクローバーモチーフに、県立大学の4つの理念を表現し、人間尊重を核とした4つの円が組み合わさることにより、山口県立大学を象徴する漢文字「Y」が浮かび上がるデザインで構成。活気あふれ未来に向かって行動する大学をアピールしています。

アプリケーション展開

アプリケーション展開

ブランドデザインシステム
ロゴタイプ・色指定・フォント指定
印刷物・Web・サイン・その他
デザイン・制作・監修

デザイナー C

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

アプリケーション展開

アプリケーション展開

Yamaguchi Prefectural University

ハンカチ（シンボルマークをモチーフに作成）

スクールカラー設定 (CMYK/DIC)

vermillion (朱色)
bright yellowish red (明るい黄みの赤)
cmyk:data / M=90, Y=80

dark grey (黒)
purplish grey (紫黒)
cmyk:data / M=10, Y=10, B=90

プロイントーンの色は、印刷物のイメージがあり、色味や質感は必ずしも再現できず、また、シミュレーションによる誤差、印刷機やインキの特性による差が生じます。このため、ウェブやデジタル印刷などで、必ずしも印刷物の色と一致しない場合があります。必ずしも印刷物の色と一致しない場合があります。

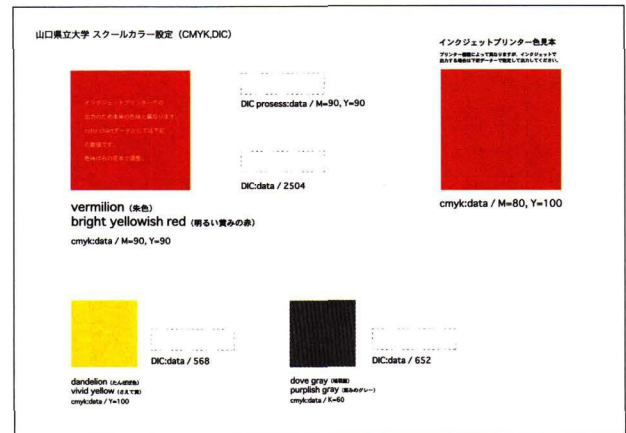
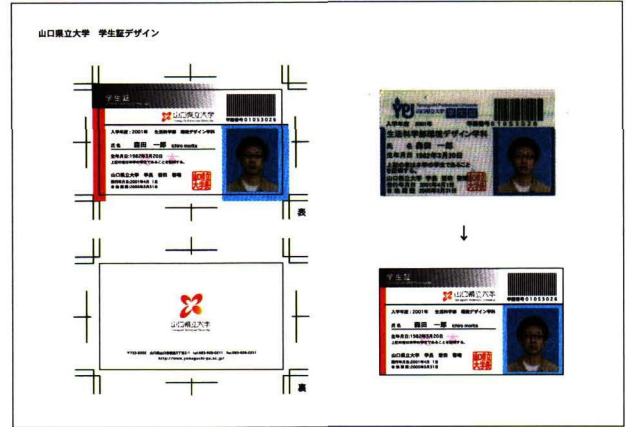
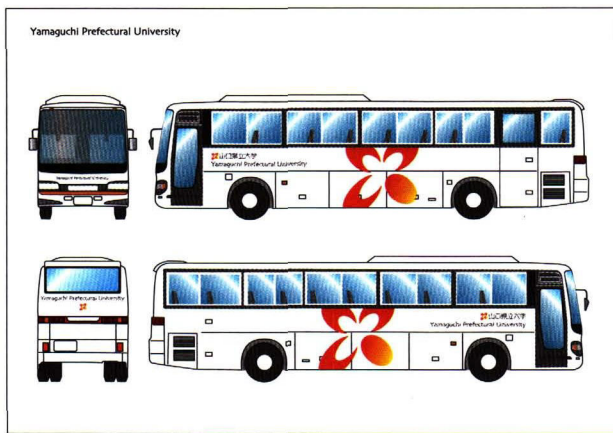
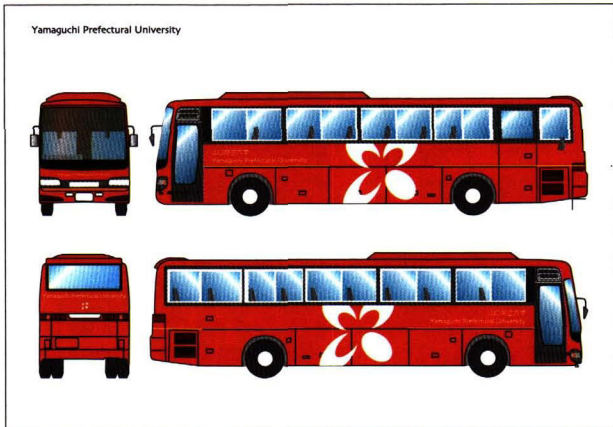
シンボル、ロゴタイプ組み合わせ

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

単色によるスクールカラー設定

単色によるスクールカラー設定

アプリケーション展開



山口県立大学の
スクールカラーが決まりました。
(コミュニケーション・シンボルマーク)

山口県立大学
Yamaguchi Prefectural University

ypu red ypu yellow ypu gray

今年の夏より「大学アイデンティティ委員会」では、本学のイメージカラー調査を行い、学内 566人、学外 116人、教職員 188人、合計 887人の回答データに基づき、大学の歴史、精神、将来ビジョン、色彩感覚を考慮しながら検討を繰り返した結果、この夏、山口県立大学のスクールカラーを、「ypu red」と定義し、これをシンボルマーク「コミュニケーション・シンボルマーク」を新しく設定することになりました。

スクールカラー「マーク」とも、「ひとにやさしい大学」をめざす、本学大学の方向性を示すもの。本学が掲げている、「人間尊重の精神」「地域との共生」「生活者の視点の重視」「国際化への対応」を「色」と「形」とで表現しています。

今後、このスクールカラー、コミュニケーションシンボルマークを大学のアイデンティティとして展開し、学内外に幅広く山口県立大学をアピールしていきたいと考えています。

大学アイデンティティ委員会

ひとに優しい大学であるために。

国際化への対応

人間尊重の精神

生活者の視点の重視

地域との共生

山口県立大学は、「ひとに優しい大学」をめざすため、四つの理念の基、日々邁進し続けています。しかし、めまぐるしく社会状況が変化する中、大学の進むべき方向を、今一度見つめ直す時期でもあつてと考えています。山口県立大学は、ひとにやさしい大学、「動きだします」。

であり続けるために更なる革新を求め、

大学アイデンティティ委員会